

## 21 信じている だけですか？

携帯電話があれよあれよと瞬く間に広がり、そして時代はスマートフォンやスマートウォッチへと移ってきました。スマートフォン等の普及率が上がるに伴い、小学生にも携帯電話やスマートフォンをもたせる家庭が増えました。安全安心のためのGPS機能であったり、急な連絡の手段としてであったりと、用途はさまざまです。

『道具』は非常に便利なもので、正しい使い方をすれば、暮らしを豊かにしてくれます。「ナイフ」は木を削り、肉をそぎ落とし、身を守り・・・「自動車」は人や荷物を短時間で離れたところまで運んでくれます。どちらも道具です。しかし使い方を間違えるとどうでしょう。ナイフは人を刺すことができます。ナイフは人を切ることもできます。車は人をはねることができます。物をぶち壊すこともできます。どちらも本来もっている道具としての正しい使い方を逸脱した使い方です。

**道具は使い方を一歩間違えると、他人をそして自分をさらには周りの人たちを傷つけることになりかねません。**

子どもたちの携帯電話やスマートフォン(通信機能付きゲーム機も含まれます)の普及はもはや止めることはできません。それに伴って、子どもたちの間でのトラブルも急増しています。さらに低年齢化も加速しています。

子どもたちにこうした『道具』をもたせるのであれば、しっかりと安全対策をすることが大人の役割だと私は考えます。フィルタリング一つせずに持たせることは、危険な状況に子どもを放り込むのと同じではないかとさえ思います。

少し前ではありますが、横浜市を含む9都県市の青少年健全育成のポスターに「信じているから・・・だけで大丈夫？」というキャッチコピーがありました。本当に大丈夫でしょうか。